



メールマガジン

全部協プライムニュース

<https://www.zenbukyo.or.jp/>

全日本自動車部品卸商協同組合

2026年4月号

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

※このメルマガは目次に記載された順に記事が掲載されております。記事本文につきましては下方にスクロールしてお読みください。

CONTENTS

1. 全部協活動報告

- 1) 「第74回定例理事会」を開催
- 2) 令和7年度監事会計監査を実施
- 3) 「全部協オンラインセミナー第9弾」を実施

2. 支部・ブロック協議会活動報告

- 1) 京都支部（京都府自動車部品商組合）が総会開催

3. 自動車業界のニュース

- 1) 日整連が令和7年度版「自動車整備白書」を発表
- 2) 整備事業場の8割が「整備料金のコスト上昇」と回答
- 3) 「第5回整備事業者アワード2026」大賞に赤碕ダイハツ（有）
- 4) 部工会が2024年度自動車部品出荷動向を発表
- 5) 中東情勢による原油価格高騰・供給不安で「マイナス影響」9割超に

4. 統計情報

自動車販売統計

整備工場統計

5. 組合員異動報告

6. 事務局からのお知らせ

- 1) 「WEB共通互換品番検索システム」をリニューアルしました
- 2) 「WEB共通互換品番検索システム」ご相談窓口をご利用ください
- 3) ワイパーリフィールキャンペーンを5月11日から実施します
- 4) 令和8年度団体保険募集を開始しました

- 5) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを開始しました
- 6) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください
- 7) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

7. 全部協会議・活動日程

8. メルマガ配信アドレス登録のお願い

9. 付録

- 1) 「Zen-bukyo Toolモール」利用のQ&A
- 2) メルマガ添付版：デッドストック部品運用ガイドライン
- 3) リパーツダイレクトの広告
- 4) その他の広告リンク
 - ・株式会社AAC

1. 全部協活動報告

※各委員会・会議の詳細は、全部協ホームページの組合員ルームに掲載される議事録をご確認ください。

1) 「第74回定例理事会」を開催

全部協は4月23日に「第74回定例理事会」を開催しました。理事会では令和7年度決算、令和8年度事業計画、6月開催の「第13回通常総代会」の開催方法等について審議しました。また各委員会活動報告では、事業運営委員会から「WEB共通互換品番検索システム（ZEBGO）」リニューアルの経緯や進捗について報告がありました。

2) 令和7年度監事会計監査を実施

全部協は4月22日、今川雅夫監事および遠藤美代子監事による令和7年度監事会計監査を実施しました。

3) 「全部協オンラインセミナー第9弾」を実施

全部協は4月14日、第9弾となる「全部協オンラインセミナー」を実施しました。今回は(株)サンカクワークスの岩田徹代表取締役を講師に迎え、『人不足時代に企業が取るべき人材戦略』をテーマに時代の変化に合わせた人材採用や人材育成のポイントについて解説しました。

2. 支部・ブロック協議会活動報告

1) 京都支部（京都府自動車部品商組合）が総会開催

全部協京都支部（京都府自動車部品商組合）は4月4日に京都市のウェスティン都ホテル京都で総会を開催しました。

3. 自動車業界のニュース

1) 日整連が令和7年度版「自動車整備白書」を発表

(一社)日本自動車整備振興会連合会(日整連)は令和7年度版「自動車整備白書」を発表しました。令和7年6月末時点での総整備売上高は対前年比6.4%増の6兆6592億円、4年連続で売上高が増加し過去最高を更新しました。部品材料費の上昇や工賃値上げ、車両の平均使用年数の長期化等が売上高増加につながったとみられます。業態別では専・兼業が3兆3234億円(対前年比10.1%増)、ディーラーが3兆493億円(同2.5%増)となり、5年連続で専・兼業がディーラーの売上高を上回りました。

総整備売上高を作業内容別にみると、車検整備、事故整備、定期点検整備、その他整備の全ての作業で前年売上を上回りました。車検整備売上高は前年比6.4%増の2兆7037億円となり、9年連続で前年より増加しました。継続検査台数が登録車、軽自動車ともに前年を上回ったのに加え、部品材料費の上昇や人件費増加に対応するための工賃引き上げ等で平均単価が上昇したことが売上高を押し上げました。また事故整備売上高は同9.4%増の1兆2253億円となり4年連続で増加しました。こちらも交換部品の高額化や人件費の増加により整備単価が高騰していること等が売上増につながったと思われます。定期点検整備売上高は4928億円で前年比7.9%増加しました。その他整備売上高は前年比4.6%増の2兆2374億円となりましたが、業態別では専・兼業の同12.6%増に対し、ディーラーは同3.0%減となりました。部品材料費の上昇や人件費の増加に対応するための工賃引き上げ等で平均単価が大幅に上昇したことに加え、バッテリー、タイヤ、ホイール、オイル等メンテナンス関連の売上が好調だったことで専・兼業は4年連続で売上高が上昇しました。

2) 整備事業場の8割が「整備料金のコスト上昇」と回答

(一社)日本自動車整備振興会連合会(日整連)が「自動車整備白書」において実施した整備料金のコスト増減や価格転嫁の状況等に関するアンケートによると、1年前と比べて部品材料費、エネルギー費、労務費のどれか1つでも「上昇した」と回答した整備事業場は80%以上にのぼり、ほとんどの事業場がコスト上昇の影響を受けていることがわかりました。部品材料費が上昇したとする事業場は69.0%、エネルギー費は54.5%、労務費は50.3%で、部品材料費の影響を受けた事業場が最も多くなっています。また3つ全てが上昇したと回答した事業場も37.8%でした。

上昇したコストに対する価格転嫁については、部品材料費では74.9%、労務費では49.7%、エネルギー費では32.8%の事業場が「全て」または「一部」を価格転嫁しています。業態別にみると、部品材料費を整備料金に転嫁した事業場の割合は専・兼業が75.5%、ディーラーは75.3%と大きな差はありませんが、コスト上昇分を100%整備料金に転嫁した「全部転嫁」の割合はディーラーが11.6ポイント上回りました。

3) 「第5回整備事業者アワード2026」大賞に赤碕ダイハツ(有)

(株)日刊自動車新聞社が主催する「第5回整備事業者アワード2026」の表彰式が4月20日に開催されました。「イノベーション」、「経営改善」、「社会貢献」の3領域8部門と審査委員特別賞で10社が表彰されました。部門賞から選出される「日刊自動車新聞社大賞」には社

会貢献領域で地域貢献賞を受賞した赤碕ダイハツ有限会社（鳥取県）が選ばれました。

4) 部工会が2024年度自動車部品出荷動向を発表

（一社）日本自動車部品工業会（部工会）が発表した2024年度「自動車部品出荷動向調査結果」によると、2024年度（2024年4月～2025年3月）の自動車部品出荷額は前年度比1.7%減の20兆7070億円、うち四輪車用部品は同5.7%減の19兆5989億500万円となりました。また四輪車用補修部品・用品向け出荷額は8219億6400万円で同4.9%減、このうち国内優良部品市場にあたる直接市場向け(国内)は2491億1400万円で前年度比1.2%減となりました。

5) 中東情勢による原油価格高騰・供給不安で「マイナス影響」9割超に

帝国データバンクが4月上旬に実施した「中東情勢による原油価格高騰・供給不安の影響アンケート」によると、中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や供給不安が経営に「マイナス影響」と回答した企業は9割以上で、今回の事態が半年程度継続すれば主力事業の縮小を余儀なくされる可能性があるという企業も半数近くにのぼりました。

アンケートに回答した全国の約1680社のうち「マイナス影響がある」と回答した企業は96.6%となり、内訳としては「自社で使用する車両の燃料費の上昇」が73.4%と最も多く、次いでナフサ等「原油由来の原材料価格の上昇」、「物流費・輸送費の上昇」、「取引先からの値上げ要請の増加」が6割台の高水準となっています。回答した企業からは「自動車整備業では燃料のほか使用するエンジンオイル、機械油系についても仕入先での在庫切れが出始めているほか、仕入れ価格も4月から20～30%上昇している」といった声が寄せられています。

現在の原油価格の水準またはそれ以上の水準がどの程度継続すると、自社の主力事業の大幅な縮小に至ると想定しているか尋ねたところ「3カ月以上～6カ月未満」という回答が最も多い一方、短期間でも経営に重大な影響が及ぶとする「3カ月未満」が17.2%で、これらを合計すると4割超の企業が今回の事態が半年程度長引いた場合、主力事業の大幅な縮小を余儀なくされる可能性を示唆しています。

業界別では、ガソリンスタンドや自動車・自動車部品を含む「小売り」が「6カ月未満」が54.5%と全体を10ポイント以上上回りました。また「製造」では「3カ月未満」（22.8%）と短期間でも経営に重大な影響が及ぶとみる企業が比較的多い結果となっています。

4. 統計情報

国土交通省

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

優良認定工場数（速報）

（一社）日本自動車販売協会連合会

ブランド別新車販売台数確報 2026年3月

5. 組合員異動報告

1) (株)北光社の代表取締役社長に嘉満弘正氏が就任しました。北哲也前社長は取締役相談役となりました。

6. 事務局からのお知らせ

1) 「WEB共通互換品番検索システム (ZEBGO)」をリニューアルしました

全部協は「WEB共通互換品番検索システム (ZEBGO)」を4月1日にリニューアルしました。

旧システムから新しいシステムへの移行にあたっては専用の接続ツールの準備が必要です。接続ツールは下記URLのリーフレット内からダウンロードしてください。複数の支店・営業所で「WEB共通互換品番検索システム」ご利用の組合員は、各利用拠点にも周知をお願いいたします。

◎ 「WEB共通互換品番検索システム (ZEBGO)」リニューアルのお知らせ

2) 「WEB共通互換品番検索システム (ZEBGO)」ご相談窓口をご利用ください

全部協は「WEB共通互換品番検索システム (ZEBGO)」専用のご相談窓口を開設しております。互換品番検索システムをご利用中に不具合等のあった場合は下記までご連絡ください。

株式会社クレイドルボックス

電話 : 0277-46-9876

メールアドレス : support@cradlebox.co.jp

お問い合わせ対応時間 : 月~金 9時~17時

※土・日・祝日、夏期休業、年末年始休業期間はサポート対象外となります

上記へお問い合わせの際は「WEB共通互換品番検索システムについて」とお伝えください。お電話は混み合う場合がありますのでメールでのご連絡をお勧めいたします。メール確認後、必要に応じてメールまたはお電話いたします。予めご了承ください。

また、お電話でのお問い合わせの際には発信者番号の通知をお願いいたします。

3) ワイパーリフィールキャンペーンを5月11日から実施します

使い易さを追求した!

開催期間

2026年5月11日(月)
~6月30日(火)

ワイパーリフィール キャンペーン

あなたの自動車の
救世主となる一品

TWMタイプより金具を両側で包みこんだタイプになりました。
より安定した耐久性と扱いやすさが増しました。

各単品は透明ビニール包装で、1箱あたり10本入っております。
包装袋に長さメモリ付きなので、開封せずに長さが一目で確認できます。

※摩擦抵抗を下げ、滑り性を上げたグラファイトタイプ。
ワイパー作動時のビブリの発生などを抑制させます。

Made in
Japan

ZEN-ERIC
ZEN-bukyo

特別価格にて購買サイトに掲載!

※FAX注文なら合計100本単位でアソート注文可能

ZEN-bukyo
ZEN-ERIC
ZEN-bukyo
ZEN-ERIC
ZEN-bukyo



全部協モール

検索



ZEN-ERIC
ZEN-bukyo

全日本自動車部品卸商協同組合

事業運営委員会

TEL : 03-3528-8580

全部協はワイパーリフィールキャンペーンを5月11日から6月30日まで実施いたします。
「ZEN-bukyoモール」に掲載しているワイパーリフィールを特別価格で提供いたします。
詳細は下記URLからリーフレットをご覧ください。

◎「ワイパーリフィールキャンペーン」リーフレット

4) 令和8年度の団体保険制度募集を開始しました。

全部協は令和8年度の団体保険制度募集を開始いたしました。まだ団体保険にご加入いただいていない組合員の方もこの機会にぜひご検討をお願いいたします。

募集開始に先立ち、組合員の皆様には団体生命保険および新医療保障保険のパンフレットを郵送にてお送りしておりますのでご覧ください。また、すでにご加入いただいている組合員にはパンフレットとともに加入者の氏名および契約内容を記載した被保険者明細を同封しております。この被保険者明細は自社で誰が団体保険に加入しているか、保険金額はいくらかといった加入状況を把握するため必要な資料です。必ず内容をご確認いただき、なくさないよう社内で大切に保管してください。

5) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを行っています

全部協は組合員の皆様の福利厚生充実を目的に、第一生命保険(株)のグループ企業である(株)ベネフィット・ワンの総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」の取次ぎを行っています。

「ベネフィット・ステーション」は団体保険の付帯サービス「DL Benefit Premium」の内容が拡充されたもので、お申込みいただいた組合員の経営者、役員、社員及び二親等以内のご家族が飲食店や映画館、レジャー施設、ショッピングサイトをはじめ、健康支援、教育・研修支援といった140万以上の様々なサービスを割引でご利用いただけます。

また、会社が負担した入会金・月額料金は法人にあっては全額損金算入、個人事業主にあっては全額必要経費に算入できます。

福利厚生の拡充や人材確保、社員のスキルアップなど、多方面で役立つサービスとなっておりますので是非ご活用ください。サービス内容、利用料金等については下記URLからパンフレット類をダウンロードしてご覧ください。

※団体定期保険・新医療保障保険に未加入の組合員の方もお申込みいただけます。

◎「ベネフィット・ステーション」資料・説明申込書

※入会希望または詳細説明をご希望の方は『ベネフィット・ステーション説明申込書』に記入のうえ、全部協事務局まで送付願います。第一生命保険(株)の担当者からご説明いたします。

6) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください

全部協では組合員の皆様の事業活動を支援するため、共同購買サイト「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」を通じた共同購買事業およびあっせん販売事業を行っています。

共同購買事業の取扱商品については、「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」から、あっせん販売商品については全部協ホームページの組合員ルームからご確認ください。お得に購入できる商品が多数掲載されておりますので積極的なご利用をお願いいたします。

7) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

全部協は、日本フィルターエレメント工業会が展開しているエアフィルターの販売促進活動に協力しています。

日本フィルターエレメント工業会では、エアフィルターの素材が不織布中心となっていることによりエアブロー清掃の効果が限定的であること、エアフィルターの汚れがエンジンや燃費に及ぼす悪影響等を広く周知し、適正な交換を呼びかける取り組みを進めています。全部協でも、定期交換の重要性や適正な交換目安について組合員や得意先に広く周知・啓発し、潜在需要を掘り起こすことでエアフィルターの販売拡大につなげられるとして、同工業会や卸商社と連携し販促活動を進めていきます。

◎エアフィルター交換促進チラシ（日本フィルターエレメント工業会製作）

エアフィルターは、**適正に交換しましょう!**



エアフィルターには「**性能期限**」があります
エアフィルターの交換時期は、車の利用環境や利用頻度によって大きく異なりますが、走行を続ければ確実に汚れるので定期的な点検と交換が必要です。

交換の目安は**4~5万km**毎
(シビアコンディションの場合は2~2.5万km毎)
※詳しくは整備手帳をご確認ください

⚠ エアブローの清掃では、ろ材にこびりついた汚れは吹き飛ばせない
ので交換しましょう!

交換時期をむかえたエアフィルターは**新品に交換**しましょう!

日本フィルターエレメント工業会
協力 全日本自動車部品卸商協同組合

7. 全部協会議日程

全部協会議・活動日程につきましては、下記のリンクをご覧ください。

2025年度~2026年度会議・活動日程

8. メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録をいただいた組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆様にお送りしております。

配信をご要望の場合は、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願いいたします。組合員と賛助会員以外の方は、事務局にて確認のうえ、配信の取り計らいをさせていただきます。

9. 付録

- 1) 公式LINEお友達募集中です
- 2) 「ZEN-bukyoTool モール」利用のQ&A
- 3) デッドストック品掲載ガイドライン
- 4) 「リパーツダイレクト」広告【PDF】
- 5) その他の広告リンク

株式会社AAC

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館ビル6階

Copyright (C) 全部協事務局

[お問い合わせ](#) [配信停止](#)